

それはおかしい

近年、住宅に使われている資材のほとんどは接着剤が絡んだ製品だ。それが昔は付帯物程度だったが今は構造体にまで堂々と使われている。良く考えてほしい。構造体は家が不要になって解体するときまでしっかりと重量を支えていてくれないと困るもの。私ら資材屋は接着剤を使った製品寿命はそんなに持たないと感じている。そういうものが命を支えてくれるのだから。構造体に使われているのだ。構造体がすべて集成材で固められるようになってからまだ10年そこそこだ。売る側は半永久的に持ちますというだろうが、そんな保証などどこにもない。瑕疵担保責任保険があっ

11月の住宅セミナー

題名「失敗しない家づくり」

〈テーマ〉「資材の話」

■日時… 11月8日(日) 10時～12時
茨城木材相互市場内研修室
(水戸市渋井町50番地)

■料金…500円(税込)

お申し込みは  090-3148-9094

要予約

てもたったの10年だ。それを1日でも過ぎたら何の保証もなくなる。裁判になったって勝てる見込みなどない。25年持てば良いと考えている人なら構わないがローンを35年も組んでいるのにあと10年はどうするつもりなのか。資材屋だから断言できること・・・こんなことで家族は守れない。

MY OPINION 290



ひたちなか市馬渡
久保敏雄